

## II-4 独自の教育支援

### 【教育情報交流展

### 「姫路きょういくメッセ」】

#### 1 はじめに

教育情報交流展「姫路きょういくメッセ」(以下「メッセ」という。)は、「来て、見て、感じる姫路の教育」をテーマに、センター創設年度に始まり、今回で11回目を迎えた。メッセは市民に向けて学校園や教職員の取組を発信し、本市が進める教育に対する理解を深めていただくこと、教職員が優れた教育財産を共有し日々の実践に生かすことで、教育力の向上を図ることを目的に開催している。

今年度は、次の5年を見据え、持続可能なきょういくメッセとなるように、これまで年々拡張し続けていた内容を見直した。開催期間は2週間から3日間に変更し、コロナ禍ということもあり、オンラインイベントを中心にする事とした。結果として、開催期間を短くすることに問題がないことが明らかになった。そして、オンラインを中心とした新しいスタイルで進めていく方向性も見出すことができた。

#### 2 概要

##### (1) 姫路きょういくメッセ

【期間】令和3年2月4日(木)～6日(土)

【対象】市立学校園所教職員及び保護者

【会場・配信元】姫路市立総合教育センター

##### ①教育研究発表 YouTube 配信

【開催日】令和3年2月4日(木)

【再生回数】176回

○教育研究員発表

「自然につながるスモールトーク～つい英語で話したくなる子供を目指して～」

外国語教育研究班

國師 暁代 (糸引小学校)

今岡 聡子 (荒川小学校)

大西 佑果 (高岡小学校)

岡本 直子 (白鷺小中学校 前期課程)

○講演「子どもの心を耕す外国語教育」

加賀田 哲也 氏(大阪教育大学 教授)

#### ②基調報告

【開催日】令和3年2月3日(金)

【再生回数】1,186回

○「令和の日本型学校教育」その基盤となるICT

原田 祐司 氏(姫路市教育委員会 学校教育部長)

○研修(グループワーク)「中学校ブロックで考える来年度の活用」

#### ③オンライン展示

○教職員の自作教材教具展

<https://sites.google.com/g.himeji-hyg.ed.jp/r2kyogood/>



○ICT活用アイデア展

<https://sites.google.com/g.himeji-hyg.ed.jp/r2ictidea/>



ICT  
広峰小5年生担任団  
(岡田 美紀、加賀 幸枝、三戸 貴子、山田 直美)

情報技術のよさを感じ、自分や身近な人への「思い」を大切にしたい  
プログラミング教育